

第13回 通常 総会 記録

日 時 昭和57年 6 月 5 日 午後 1 時 30 分

場 所 富 山 県 農 協 会 館

昭和56年度終了に当り、ここに事業の概要ならびに決算関係諸表についてご報告申し上げます。

本研究会は創立以来13年を経過し、その間、富山県ならびに各農協連の絶大な御援助と会員各位のご協力によりまして、農村における健康管理の推進に努力を重ね、一応の見るべき成果をあげて参りました。

今、過去10数年を顧みますと、農村社会の変貌が著しく、農業労働の近代化、また混住化、高齢化などによる疾病構造の変化を伴いそれに対処するため会員各位とともに、それに対応して調査を進めてきました。

さて本年度も事業計画に基づきまして糖尿病、肝疾患に関する調査研究を継続し、さらに農業災害に関する調査、残留農薬についての追跡、栄養調査、農村環境に起因する各種疾患の研究など幅広い範囲にわたって調査、研究を進めてきました。さらに健康教育の推進と保健指導に力を注ぎ「緑と水にかこまれた健康で住みよい農村」を目標として努力を重ねました。

ことに農村医学は、社会医学の一分野を形成し、医学と関連をもつ社会学、経済学、心理学とも密接な関係にあり、幅広い分野にも研究を重ね成果をあげてきました。

なお、昨年9月、フランスのアビニョンにおける第8回国際農村医学会に、豊田会長、越山、寺中両理事が出席し、本研究会における成果の一端を報告するとともに討議に参加しました。さらにスエーデン、デンマークにて両国の社会福祉、とくに老人福祉について視察を行い、今後我が国における老人対策に示唆をえて帰国しました。

以上本研究会第13年度（昭和56年度）終了に当り、事業報告の概要を申し述べ、次年度も農山村の人々の健康を守るため、さらに幅広い方々と共に一層の努力を重ねたい所存であります。

議 事 の 概 要

会 員 総 数	150名	うち出席者81名	委任状8名
会 長 扶 撈	豊 田 文 一		
議 長 選 出	厚生連高岡病院副院長 龍 沢 俊 彦		
議 事 録 署 名 者	氷見市 村 田 栄 信	富山市 柳 井 道 之	
書 記	西 田 利 紀 夫	辻 純 雄	
議 事	第1号議案	昭和55年度事業報告書、財産目録、収支決算報告承認について	
	第2号議案	昭和56年度事業計画及び収支予算案承認について	
	第3号議案	役員の一部改選について	
	第4号議案	顧問の一部改選について	
	第5号議案	会費の値上げについて	

特 別 講 演 東京農業大学教授 五島孜郎氏
演 題 「カルシウム摂取とそれを取りまく諸問題」

役員名簿

(昭和57年6月5日現在)

理事			
氏名			役職
豊田	文一		金沢大学名誉教授
本多	重雄		前県厚生部次長
神埜	清作		県医務課長
沖野	清作		県農産普及課長
尾山	京三		県公衆衛生課長
中川	秀幸		富山保健所長
中田	慶子		福野保健所長
渡辺	正男		富山医科薬科大学教授
中藤	康俊		富山大学助教授
越山	健二		全国国保学会顧問
石田	礼二		富山市民病院長
長谷田	祐作		国立療養所富山病院長
寺中	正昭		城端厚生病院長
広瀬	龍夫		県医師会理事
西北	能正一郎		西能病院長
北川	鉄人		北川内科クリニック院長
広島	清一		厚生連高岡病院長
一柳	兵蔵		厚生連滑川病院長
館野	政也		県立中央病院産婦人科部長
山口	光弘		県厚生連会長
木沢	慶策		県農協中央会副会長
中川	勝三		県農協青年組織協議会長
竹部	喜代子		県農協婦人組織協議会長
跡治	順子		県経済連生活店舗指導課長補佐兼生活指導係長
豊本	清美		高岡市農協生活指導班長
監事			
林岡	西一	脩英	前厚生連高岡病院長 高岡市農林部長
顧問			
中沖	健治	豊	富山県知事
堀	村栄	吉	〃 市会長
定	多幸	男	〃 町村会長
本	橋昭	男	〃 医師会長
三	本力	蔵	〃 厚生部長
西	井信	勝	〃 農業水産部長
松	田金	蔵	〃 農協中央会長
滝	日淳	夫	〃 信連会長
南	河合	勇三	〃 経済連会長
河			〃 共済連会長

昭和56年度収支決算書

自 昭和56年4月1日～至 昭和57年3月31日

(単位：円)

項 目	予 算 額	実 績	差 引 増 減
会 費 取 入	75,000	51,500	△ 23,500
会 費	75,000	51,500	△ 23,500
援 助 取 入	5,280,000	5,200,000	△ 80,000
助 成 金	1,800,000	1,800,000	0
特 別 負 担 金	3,480,000	3,400,000	△ 80,000
雑 取 入	30,052	96,152	66,100
雑 取 入	30,052	96,152	66,100
前 期 繰 越	40,948	40,948	0
取 入 計	5,426,000	5,388,600	△ 37,400
会 議 費	900,000	577,144	△ 322,856
総 会 費	160,000	150,904	△ 9,096
役 員 会 費	540,000	249,980	△ 290,020
専 門 委 員 会 費	100,000	132,700	32,700
編 集 委 員 会 費	100,000	43,560	△ 56,440
事 業 費	4,201,000	4,151,346	△ 49,654
研 究 調 査 費	1,916,000	2,067,997	151,997
研 究 集 会 費	180,000	180,000	0
会 誌 発 行 費	1,900,000	1,700,000	△ 200,000
通 信 費	70,000	24,320	△ 45,680
消 耗 品 費	35,000	161,029	126,029
備 品 ・ 什 器	100,000	18,000	△ 82,000
旅 費 交 通 費	180,000	199,664	19,664
旅 費 交 通 費	180,000	199,664	19,664
事 務 費	120,000	120,000	0
事 務 費	120,000	120,000	0
雑 費	15,000	17,900	2,900
雑 費	15,000	17,900	2,900
子 備 費	10,000	0	△ 10,000
子 備 費	10,000	0	△ 10,000
計	5,426,000	5,066,054	△ 359,946
次 期 繰 繰		322,546	322,546
支 出 計	5,426,000	5,388,600	△ 37,400

事業計画書

昭和57年4月1日～昭和58年3月31日

① 事業方針

富山県内の農山村の実態を医学的に医療と保健に関するすべての問題を調査研究し、明るい健康な村づくりに寄与する。

② 運営にかかる事業計画

事業内容

1. 農村の職業性疾患の調査研究
農村の地域環境並びに農作業の特殊性に起因する健康障害の調査研究
2. 農業災害の調査研究
農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究、特に騒音及び振動の影響に関する研究及び農業機械並びに農業機械以外による農業災害事故調査
3. 健康管理についての調査研究
農民の健康状態の把握と保健指導
農民の健康管理の調査研究
農民の成人病実態調査とその対策に関する検討
農村における高令者の健康調査
4. 農民の健康会議、健康教育等の実施
5. 農村の特殊疾患の調査研究
伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究
6. 農村における社会医学的研究
社会環境の変動による農民の健康に及ぼす影響についての調査研究・都市近郊農村の社会医学的研究
7. 環境汚染と農村における健康障害についての調査研究
8. 乳幼児ならびに学童の健康調査および対策
9. 研究会誌並びに必要な印刷物の発行
10. 研究集会の参加および開催
11. その他目的達成に必要な事項

投 稿 規 定

- 募 集 原 稿** 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。
- 投 稿 の 資 格** 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。
- 原 稿 の 送 り 先** 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪2番21号 富山県厚生連内）
投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prosigmin 等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字Mocacus rhesus, 山椒藻Salvinabatah 等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートルm、センチメートルcm、グラムg、キログラムkg等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロン（:）ゴジックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図表は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。（図表は、特殊なものを除いては、出来あがり左右6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）図表の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（朱記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

- 文 献**
1. 雑誌の場合著者名、標題名、雑誌名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭52. 5のごとく。）
 2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の個所の頁を最後に）

別 刷 別刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編 集 後 記

富山県農村医学研究会誌第14巻の編集をようやく終えて関係者一同ホッと一息入れたところ。

何時も感ずることであるが会員の皆様の貴重な成果、その蔭にかくれた幾多の努力、誠に頭の下がる思いである。そして本研究会としては、これでよかったか、洩れているものはなかったかという反省が引続くのである。

常に言われることであるが、直接医療に携わるDr.やNurseのみならず、関連する分野の学者・研究者・各専門家、お世話をされる、あるいはお世話をうける農業団体や農業従事者、農業・農村に関係するすべての部門からの幅広い研究・調査の集成が本誌を形づくることになるのである。

本年度の会誌を皆様がたのお手許にお届けする喜びを噛みしめると同時に、明年度は富山県置県 100年に該当する年でもあり会員皆様方のより一層の御尽力・御協力をお願いする次第である。

(Y. H)

編 集 委 員 越山 健二、長谷田祐作、北川 鉄人

富山県農村医学研究会誌 第14巻 昭和58年3月25日印刷・昭和58年3月31日発行
富山市新総曲輪2番21号・富山県厚生連内 電 話 富山(0764)45-2307
編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 岩 井 久 作
印刷所 菅野印刷興業株式会社 富山県黒部市三日市 電話(0765)54-0112
